

福島県の皆さまへ

～ 第三者検証委員会の検証結果報告書を受けて ～

2016年9月20日

東京電力ホールディングス株式会社

当社福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故により、今なお、避難を余儀なくされている9万人近い皆さまをはじめ、福島県民の皆さまに大変なご不便とご迷惑をおかけし続けておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。

福島第一原子力発電所事故に係る通報・報告の問題は、福島県の皆さまに直接かつ深く関わる重大な事項です。それにもかかわらず、事故当時、「炉心溶融」の用語を使わないよう当時の社長が指示し、それに従って公表を差し控えるという隠ぺいを行ったことで、福島県民の皆さまに多大なるご不安を与えてしまったことはまさに痛恨の極みであり、重ねて深くお詫び申し上げます。

あらためて申し上げるまでもなく、当社にとって、立地地域の皆さま、福島県民の皆さまの安全・安心が何よりも重要です。原子力を立地させていただいた地域の皆さまに対する責務として、通報・報告においては、正確に、そして迅速に事実をありのままにお伝えすることが大原則であり、事故当時、それができていなかったことについて深く反省しております。

当社は、責任を持って廃炉作業に取り組むため、福島第一廃炉推進カンパニーを設立し、継続的に情報公開の徹底を図ってまいりました。将来にわたって廃炉作業を担い、そして福島への責任を果たし続ける事業者として、いかなる事態に直面しても、しっかりと事実を正確かつ迅速にお伝えすることをあらためてお誓い申し上げます。

当社は福島への責任を果たすために存続を許された会社です。「福島への責任を全うすること」が、私たちに与えられた使命であり、すべての原点です。今後とも廃炉作業を安全かつ着実に進める上で、事実を速やかにお伝えする取り組みを徹底・強化していくことは勿論のこと、社員一人ひとりが福島県民の皆さまの安全・安心を最優先に考えることを全ての基本とし、それを一つ一つの行動でお示ししてまいります。

二度と決して隠ぺいを行わない強い覚悟を持ち続け、社員一丸となって廃炉作業をやり抜いてまいります。

以 上